

女性活躍推進事業【新潟県長岡市】

個別事業費	1,176千円
交付金額	588千円

地域の実情と課題

- 本市は、長岡市管理職の女性比率15.9%、審議会等委員の女性比率39.6%、新潟県の女性社長割合は9%強(全国最下位)、市議会議員34人のうち女性は4人と、意思決定層に女性を増やすことが、非常に重要な課題となっている。
- 家事や育児の負担や長時間労働等が女性活躍の生涯となっている現状から、このような社会環境を変えることが重要である。

事業の特徴

- ダイバーシティシンポジウム「多様な人材が活躍できる職場環境に向けて」や、理工系進学支援セミナー「Waffle Camp ホームタウンin長岡」など、さまざまな事業を行い、広く女性活躍の機運醸成を図っている。

事業の効果

- 各種セミナー等により、女性活躍の機運を醸成し、重要性を啓発することができた。
- 「ダイバーシティシンポジウム」は、参加者アンケートは回答者全員が「よい」または「大変よい」と答えており、「他の事例を具体的に聞いて、会社に持ち帰ることができて学びになった」というコメントもあり、女性活躍の機運を醸成することができた。
- 理工系進学支援セミナーは、参加者アンケートで「ITやテクノロジー分野への進路にもっと興味が出てきた」「将来は情報通信、IT分野の仕事がしたい」という意欲的な声もあり、女子中学生の理工系への進学支援として一定の効果が見られた。

目的・目標

- あらゆる分野で、女性の意見や価値観が反映され、女性もリーダーとなって、意思決定に参画できるよう、環境づくりを進める。

目標・KPI	目標	実績
講座等受講者数（アウトプット）	180人	96人
市民向けセミナー参加者に対するアンケートで「女性自身が活躍を希望していない」と考える人を減らす（アウトカム）	26%	33.9%

連携団体

- 女性活躍推進法に基づき設置した「長岡市女性活躍推進会議」の構成団体が講座の周知に協力した。
- 理工系進学支援セミナーは長岡技術科学大学や長岡工業高等専門学校と連携して開催した。
- 他の個別事業で行っている「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」賛同企業へ事業の周知を行った。また、シンポジウムは個別事業2と連携して実施した。

今後の課題

ダイバーシティシンポジウムや理工系進学支援セミナーについて、県内・市内で類似する事業があったことや開催時期が重なったことなどにより、参加を十分に確保できなかった。今後は関係団体との情報共有を密にし、テーマや時期が重ならないように調整を図るとともに、広報手段の工夫や対象層に応じた周知を強化することで、より効果的な事業の実施につなげる。

事業の概要

◆ダイバーシティシンポジウム

「多様な人材が活躍できる職場環境に向けて」
市内産業界における女性活躍推進、ダイバーシティ経営及び働き方改革の促進を目的として、多様な人材が活躍できる職場環境をテーマに、先進企業による基調講演に加え、基調講演者と市内企業によるトークセッションを実施し、先進的な取組の共有と理解促進を図った。

- ・ 開催日 11月19日
- ・ 会場 アオーレ長岡
- ・ 基調講演:(株)フジワラテクノアート 代表取締役副社長 藤原加奈さん
- ・ はたプラチナ賞表彰式
- ・ トークセッション
- ・ 参加者 65人



◆男女ともに働きやすい職場環境づくりセミナー

「テレワーカー交流会」
場所や時間に捉われない柔軟な働き方としてテレワークを取り上げ、先輩テレワーカーとこれからテレワークを始めたい方の交流会をする中で、長岡市で暮らしながら県外企業に完全リモートワークで勤める新しい働き方を実践している「NAGAOKA WORKER」やテレワーク実践企業について紹介した。



- ・ 開催日 12月22日
- ・ 会場: assemble長岡
- ・ 参加者 21人

※ダイバーシティシンポジウムにおいても働きやすい職場環境づくりに向けた取組を共有した。

◆理工系進学支援セミナー

「Waffle Camp ホームタウンin長岡」
女性の理工系への進学を支援するため、女子中学生を対象に、プログラミング教室と、理系を専攻した女性ロールモデルの講演を行った。

- ・ 開催日 8月17日
- ・ 会場 ミライエ長岡
- ・ 講師 NPO法人Waffle
- ・ 参加者 市内の女性中学生3人



◆子育て女性の就職支援セミナー

自分にあった働き方を考えるセミナーを、子育て支援施設を運営するNPOと共同で開催

- ・ 開催日 8月30日
- ・ 会場 子育ての駅ぐんぐん
- ・ 参加者 7人
- ・ 講師 社会保険労務士 高野真規さん

■結果・実績

目標・KPI	目標	実績
講座等受講者数（アウトプット）	180人	96人
市民向けセミナー参加者に対するアンケートで「女性自身が活躍を希望していない」と考える人を減らす（アウトカム）	26%	33.9%